

安全性・作業性に優れた

# 「ボンド 防蟻シール」

ボンド 防蟻シールは、シロアリ忌避性能を有した1成分形変成シリコン系シーリング材です。安全性の高い「エトフェンブロックス」を配合し、作業性に優れた速硬化タイプで断熱材を溶かす溶剤も含まれておりません。さらに薬剤残存率も高く、抜群の持続性を誇ります。断熱材目地部・配管貫通部の隙間・水抜き穴のシールなどに優れた防蟻性能を発揮します。

## 安全性

薬剤の安全性が高い!

エトフェンブロックスと他薬剤との比較

ピレスロイド誘導体化合物であるエトフェンブロックスは、温血動物に対しては毒性が低く、皮膚や粘膜に対する刺激が少なくなっています。また、水溶解度が低く、雨などによって、薬剤が周辺に溶け出しにくくなっています。

薬剤	LD50(半数致死量)ラット経口 mg/kg	水溶解度 mg/L 20℃
食塩	3,000	357,000
カフェイン	174	21,000
ピレスロイド系	エトフェンブロックス	42,880
	ピフェントリン	51
ネオニコチノイド系	イミダクロプリド	440
	チアメトキサム	1,560
ホウ酸塩系	ホウ酸塩	2,650

※食品衛生法に基づく評価値、農林水産省、農薬工業会より引用

## 持続性・即効性

長期の残存率&効果発現まで15分!

「エトフェンブロックス」の薬剤残存率

KT50値：チャバネゴキブリ10匹を試験容器に入れ、仰転数と経過時間を測定。仰転虫数率50%における経過時間。

	薬剤分析		殺虫即効性能	
	薬剤含有濃度残存率		KT50値	
	初期	80℃ 8週間放置後*	初期	80℃ 8週間放置後
表面付近	100%	93.9%	15分	16分
中心付近		95.9%		

※80℃ 8週間放置：10年相当(当社調べ)

## 防蟻性

シロアリが薬剤に触れると神経毒で忌避します。

配合している「エトフェンブロックス」は薬剤提供元にて、ハエやゴキブリに対する効力も確認されています。



色調:グレー

## 硬化速度

速硬化タイプで作業性良好!

変成シリコンの速硬化について

防蟻シールは速硬化タイプとなっており、指触乾燥時間は3時間ほどと通常タイプの約2倍の速さで硬化します。



## 接着性

幅広い素材に接着!

基礎断熱工法の目地や隙間、金具の接着やシールに

防蟻シールは、幅広い下地材料への接着に対応しており、低温時のへら仕上げ性、押出し性にも優れた冬でも使いやすいシーリング材です。

接着体	接着性	接着体	接着性
無機質材	御影石(研磨面)	金属	アルマイトアルミ
	御影石(粗面)		アクリル積付アルミ
	スレート		アクリル電着アルミ
	モルタル		ステンレス
ゴム	天然ゴム	木材	SPCC
	ブチルゴム		合板
	NRゴム		カバ
プラスチック	ABS	断熱材	発泡ポリスチレンフォームK
	硬質塩ビ		発泡ポリスチレンフォームD
	発泡スチロール		発泡ポリスチレンフォームJ

○:完全な接着性が得られる。△:接着するが50%の接着強さが得られない。×:接着できない。※試験内容は「ボンド シールプライマー#2」使用時

## 塗装性・無溶剤

変成シリコン系なので、上塗り塗装が可能!

断熱材を溶かさず、塗装が可能

硬化後は、肉やせもほとんどなく耐熱や耐寒性に優れ、硬化後の上塗りも可能です。断熱材を溶かす溶剤も含まれておりませんので安心してご使用いただけます。

※表面を塗装すると忌避効果は無くなりますので、忌避効果を得たい箇所への塗装はお控えください。



【社】日本木材保存協会 JNFAS-79-(1)(2011) 土壌処理用防蟻剤等の有効成分及びその試験方法










「ボンド 防蟻シール」と薬剤非配合シーリング材での忌避効果比較

右のガラス容器にシロアリを110匹入れ、「ボンド 防蟻シール」と薬剤非配合シーリング材を間に挟み、3週間経過後に観測し、穿孔の有無を判定。結果、「ボンド 防蟻シール」には食害(傷)が見られず、「エトフェンブロックス」による高い忌避効果が実証されています。

## 主な使用箇所

基礎断熱工法に欠かせない!

-  配管貫通部、水抜き穴、型枠固定金具部分などのシール
-  基礎工法のクラック部分
-  基礎断熱工法による断熱材目地
-  防蟻断熱材とコンクリートの打ち継ぎ部分
-  防蟻断熱材の接着およびシール
-  土台と基礎天端の隙間の充填
-  防水・防蟻シート端の立上り部分



## 物性

JIS A 5758およびJIS A 1439に基づく試験結果

規格	項目	試験条件	ベスト値				
			圧縮率(%)	50%引張応力(N/m <sup>2</sup> )	最大引張応力(N/m <sup>2</sup> )	最大引張時の伸び(%)	
JIS A 5758	スランプ(50°C・mm)	標準	0	0	0	0	
	弾性係数(%)		53				
	60%引張応力(N/m <sup>2</sup> )	23°C	0.3				
		-20°C	0.4				
	伸縮変化(損失)(%)		4.2				
JIS A 1439	初期弾性率(タックフリー) (%)	5°C	5以内				
		23°C	2~4				
	注量	5°C	1.31				
		23°C	4				
JIS A 1439	引張試験	試験体	条件	温度・伸び	50%引張応力(N/m <sup>2</sup> )	最大引張応力(N/m <sup>2</sup> )	最大引張時の伸び(%)
		-10°C	0.36	0.70	291		
		23°C	0.31	0.58	212		
		加水後	-10°C	0.33	0.79	265	
			23°C	0.25	0.36	158	
			23°C	0.34	0.53	257	
		セルラー系	養生後	-10°C	0.38	0.86	367
				23°C	0.29	0.57	230
				-10°C	0.39	0.92	301
			加水後	23°C	0.20	0.30	146
				5°C		90~100	
23°C				20~40			
戻り時間(分)	5°C		10~20				
	23°C		8				
引張強度(引) [5mm厚断面積]	5°C		3				
	23°C		3				

※表中の数値は代表値であり保証値ではありません。

どうして  
防蟻が  
必要なのか?

国土交通省・経済産業省・環境省が設置する「低炭素社会に向けた住まいと住まい方推進会議」は、2020年までにすべての新築住宅を対象に省エネ等級4以上への適合を義務付けました。住宅の省エネ性能を上げるためには断熱性能を上げる必要があります。そのひとつの方法として基礎断熱工法が徐々に増加してきました。ただし、基礎断熱工法で地面に接した断熱材はシロアリの被害を受けやすくなってしまいます。そのため防蟻性能を有した「建築材料」が求められています。

■ご不明な点がございましたら弊社営業部までお問い合わせ下さい。  
**コニシ株式会社**  
<http://www.bond.co.jp/>

**大阪本社**  
〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL:06-6228-2931

**東京本社**  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL:03-5259-5733

### 梱包容量

色 調 : グレー  
N E T : 320ml  
品 番 : #05614  
JANコード : 4901490056149  
入 数 : 20本(10本×2)  
価 格 : 2,400円(税抜き)

**ボンド**  
KONISHI

防蟻性が必要な接着・シールに

ボンド シロアリを寄せつけない!!

# 防蟻シール

家の健康を長く保てるのは、  
防蟻シールのプロテクト効果があるからです。



安全

持続性  
抜群

幅広い  
接着性

速硬化  
タイプ

上塗り  
塗装可

コニシ株式会社